

深圳レポート

広東省と江蘇省、中国経済のリーダーは？

広東省は2023年まで連続35年もの間、中国のGDPランキングのトップを維持している経済大省である。一方、江蘇省は中国の製造業の中心地であり、直近のGDPランキングでは広東省に次ぐ位置まで追いついてきており、もうじき広東省を上回るのではないかとこの声も上がってきている。

2024年第一四半期のGDPデータ

2024年第一四半期では、GDP総量をからすると、広東省は依然として江蘇省をリードしているが、両省の差は徐々に縮小され、江蘇省の経済成長率は広東省を大幅に上回っている。

地区	GDP 総量(億元)	増加率(%)
広東省	31,510.66	4.4
江蘇省	31,020.40	6.2

主要都市の経済状況

都市	省	経済成長率 (第一四半期)	経済状況の概要
深セン	広東省	6.4%	ハイテク産業とイノベーション経済が成長を牽引。TencentやHUAWEIなど企業が高速成長を後押し。
蘇州	江蘇省	7.9%	強力な製造業と外資系企業の集積地。蘇州工業園区の成功運営が経済競争力を強化。
広州	広東省	3.6%	製造業の遅れと不動産市場の影響で成長率が鈍化。それにもかかわらず、サービス業と貿易で強いパフォーマンス。
南京	江蘇省	3.8%	ハイテク産業と外資企業を引きつける努力が必要。経済成長率では蘇州に追いついていない。
東莞	広東省	5.5%	発達した製造業と電子産業チェーンに依存し、グローバルサプライチェーンで重要な位置を占める。経済成長が安定。
佛山	広東省	-0.25 億元	製造業と輸出業務が打撃を受け、家電、家具、陶磁器などの輸出額が大幅に減少。産業の転換と高度化で厳しい局面。

製造業、サービス業、ハイテク産業の発展状況

広東省

広東省は製造業、サービス業、ハイテク産業において顕著な優位性を持っている。深センはハイテク産業が主導しており、電子情報、通信設備、生物医薬などの分野で急速な発展を遂げている。広州は商貿、物流、金融サービスに強みを持

ち、南方の経済中心としての地位を確立している。

しかし、広東の製造業は一定の課題にも直面している。広州の先進製造業の伸長は低く、わずか0.1%であり、その中でも先進装備製造業は13.7%減少している。広東第二の工業都市である佛山も製造業が低迷しており、「規模以上」(年間の主要業務収入が人民元2,000万元以上の工業企業)工業の増加値は前年同期比で2.2%減少している。

江蘇省

江蘇省は製造業とハイテク産業で優れたパフォーマンスを見せている。蘇州、無錫などの都市の製造業とハイテク産業は急速に発展しており、蘇州工業園区と無錫の微電子産業園区は全国的に知られたハイテク産業基地である。今年の第一四半期、江蘇省の「規模以上」の装備製造業の増加値は前年同期比9.6%増加し、製造業全体の投資は14.4%増加している。

税金能力および税金構造の比較

広東省と江蘇省の税金には顕著な差がある。

税金総量

2023年、広東省の国内税金は2.1万億元にしているものの、一方で江蘇省の税金は1.5万億元であった。広東省の税金は江蘇省より約40%多く、これが広東省の全体的な経済規模と財政収入の優位性を反映している。

GDP1元あたりの税金

1元のGDP対応する税金を見てみると、広東省の経済効率が明らかに高いことがわかる。広東省ではGDP1元あたり約0.16元の税金が生じるのに対し、江蘇省では0.12元である。このデータは、広東省が経済効率と財政収入面でより高い品質と効率を持っていることを示している。

広東省は、経済活動がより多くの税収を生み出す能力があり、これは単に経済総量が大きいためだけでなく、高付加価値産業の割合が高いためでもある。ハイテク産業と現代サービス業の発展により、広東省は税収獲得においてより効率的といえる。

所得の比較

所得収入は、地域の経済活力と住民の収入水準を測る重要な指標である。2023年、広東省の所得収入は2,365億元に達し、江蘇省の1,263億元を大きく上回った。広東省の所得収入は江蘇省のほぼ2倍であり、これは広東省が住民の収入水準と経済活力において優位に立っていることを反映している。

若年層割合と出生率の比較

広東省

広東省の常住人口1.27億人のうち、16歳から59歳までの労働人口は8,460万人で、総人口の66.58%を占める。この割合は全国で最も高く、広東省が労働力資源において大きな優位性を持っていることを示している。また、広東省の出生率も高く、2023年には出生人口が103万人に達し、6年連続で全国第一の出生率を誇る省となっている。これらのデータは、広東省が将来の労働力供給と人口構造の面で良好な持続可能性を備えていることを示している。

江蘇省

対照的に、江蘇省は若年層の割合と出生率の面でやや劣っている。江蘇省の経済は発展しているが、高齢化の問題が相対的に顕著である。江蘇省の老年層の絶対数は全国で二番目に多く、南京、無錫、蘇州などの都市は全国で最も高齢化が進んでいる都市の上位十位に入っている。これにより、江蘇省は将来的な労働力供給においてより大きな課題に直面する可能性があるため、若年層の誘致や出生率の向上に向けた対策が求められている。

外貨総額および主要輸出製品の比較

広東省は中国の外貨をリードしており、2024年第一四半期の外貨輸出入総額は2.04万億元に達し、過去最高を記録し続けている。広東省は引き続き全国一位の座を保持している。

主要な輸出製品としては、電子製品、家電、機械設備など

の高付加価値製品が中心であり、これらの製品は国際市場で非常に競争力を持っている。特に深センのハイテク製品、電子情報産業は、引き続き世界市場で重要なシェアを占めている。

江蘇省の外貨も非常に好調であり、2024年第一四半期の輸出入総額は1.3万億元に達し、歴史的な記録を達成した。江蘇省の外貨増加量は全国で最も高く、その強力な国際競争力を示している。蘇州は外貨において重要な役割を果たしており、ハイテク製品や精密製造製品は国際市場で高い評価を受けている。

江蘇省の主要な輸出製品には、機械設備、電子製品、化学製品などがあり、これらの製品は国際市場で安定した需要があり、高い市場シェアを持っている。江蘇省の強固な製造業基盤は、その外貨の持続的な成長を支えている。

資金総量

広東省と江蘇省の資金総量は、その経済実力を測る重要な指標の一つである。

2024年度の広東省の人民元・外貨預金残高は36万億元に達し、全国で首位に立っている。これは、広東省が資金を引き付け、資本を蓄積する能力が強力であることを反映している。膨大な資金総量は、地方経済の発展に十分な資金支援を提供するだけでなく、広東省が金融市場で重要な地位を占めていることを示している。

一方、江蘇省の人民元・外貨預金残高は24.6万億元であり、広東省には及ばないものの、全国的には依然として上位に位置している。江蘇省の資金総量は、その強固な製造業基盤と継続的に発展するハイテク産業によるところが大きい。

いずれにしても、広東省と江蘇省は、日系企業が多く進出している地域であり、両省の経済発展は中国経済のバロメーターでもある。中国民間経済の最も発展した2つの地域が健全な競争を形成しながら、中国経済を引っ張っている。

浙江星漢博納醫藥科技有限公司

社名	浙江星漢博納醫藥科技有限公司	英語名	Xing Han Boehner Pharmaceutical Technology		
代表者	邱中勳	URL	http://www.yaodou.cn/		
所在地	浙江省湖州市安吉縣麟峰街道清遠路1397号 1棟101号室				
売上(RMB)	—	従業員(人)	—	創業年	2014年
登録資本金	4306.7815万人民币元				
サービス内容	医薬品業界の企業に供給チェーンの問題解決を支援する医薬品インターネット総合サービスのプラットフォーム、スマート医薬品新小売プラットフォーム				

近年、中国の医薬電子商取引(eコマース)の取引規模は成長を続けている。市場規模を見ると、2018年から2022年にかけて、中国の医薬電子商取引業界の市場規模は657.4億元から2,520億元に増加した。現在、中国の医薬電子商取引は主にB2B業務が主体で、全体の約56.4%を占めている。B2C及びO2Oはそれぞれ39.3%、4.3%である。(データ出典: 観研報告網)

浙江星漢博納醫藥科技有限公司は近日、Dラウンドの資金調達を完了したと発表した。今回の資金調達は、「薬兜網」の事業範囲のさらなる拡大、プラットフォームの技術レベルとユーザー体験の向上、薬品供給チェーン管理と物流配送能力の強化に使用される予定である。

浙江星漢博納醫藥科技有限公司は2014年6月に設立され、医薬インターネット総合サービスを提供するプラットフォームであり、医薬業界企業の供給チェーン問題を解決するための企業である。累計取引規模は500億元に達し、中関村、モルガン・スタンレー、申万宏源資本など国内外の著名な機関から投資を受けたユニコーン企業である。「薬兜網」は浙江星漢博納醫藥科技有限公司に属し、同社は現在、B2Bプラットフォーム「薬兜采」とB2C医薬小売プラットフォーム「薬兜網」という二つの医薬電子商取引プラットフォームを有している。(「薬兜采」と「薬兜網」はそれぞれ異なる役割を持ちながらも、共に「薬兜網」の一部として機能している。)

「薬兜網」の業務モデルは医薬供給チェーン体系から出発し、徐々に「医薬供給チェーン+『医者+薬+保険』」の二つの産業サービス体系に延伸している。「薬兜網」は、第三者取引プラットフォームの業務及びデータ蓄積に基づき、自営・卸売+ニューリテールのモデルで、医薬工業に全方位のマーケティングを提供している。一方で、「薬兜網」は直接医薬製造企業の優れた医薬品と契約し、川下の中小規模のエンドユーザーに対し、薬品の販売経路を短縮している。さらに、「オンライン販売(インターネットチャネル)+オフラインサービス(実体薬局)」

の方式で自営・小売体系を構築し、医薬工業企業から患者への直通のS2B2Cの新しい小売モデルを構築している。

* S2B2C: サプライヤー(供給者)からビジネス(企業)を通じてコンシューマー(消費者)に商品やサービスを提供するビジネスモデルを指す。

2023年7月初めに、浙江星漢博納醫藥科技有限公司とZTO Expressグループは共同出資し、重慶中通医薬供給チェーン有限公司を設立した。ZTO Expressの主な強みは、大規模な宅配、貨物輸送、冷蔵チェーン、クラウド型倉庫などの資源と能力に集中していることである。一方、「薬兜網」は専門的な医薬経営と管理チーム、豊富な医薬流通の経験、全チャネルの販売システム、良好なサプライチェーンの協力パートナーに焦点を当てている。「薬兜網」は主に医薬B2C電子商取引業務を開拓し、中通医薬は物流統合とスマート物流システムの専門的な供給チェーンソリューションとサービスを提供することを主な目的としている。

他の医療プラットフォームの中で、アリババは、インターネット医療を提供する企業である「阿里健康(アリヘルス)」も運営している。アリヘルスの主な業務には医薬自営業務、医薬電子商取引プラットフォーム業務、医療健康及びデジタルサービス業務が含まれている。オンライン自営店などの医薬自営業務は企業収入の主要な源であり、医療健康及びデジタルサービス業務の成長率が高い。iiMedia Researchのデータによると、2023年の医薬電子商取引プラットフォーム業務の収入は22.38億元に達し、前年比10.47%増加した。

しかし、電子商取引プラットフォームは薬品販売の分野で顕著な進展を遂げたものの、患者が院外で薬を使用する段階のサービスはしばしば見落とされがちだが、処方薬患者にとって、専門的な薬の相談と診後管理は非常に重要である。医療改革政策の推進により、医薬流通産業チェーン全体が共通の課題に対応する必要があり、薬品小売終端と医薬工業企業は共に機会を模索している。

若者のDeskterior

文化も働き方も異なる日本と中国なので、職場の雰囲気が違うのは言うまでもないですが、オフィスのデスク周りの風景が対照的とも言えるでしょう。

特に最近の中国の若者の場合、一日中かなりの時間を共にするワークスペースを如何に自分好みに工夫し、アレンジするのが当たり前になりつつあります。「Desk」と「Interior」を組み合わせた「Deskterior-デスクテリア」という新語が流行るほど、デスクをパーソナライズするのが若者のトレンドになっています。

視覚的な装飾だけではなく、感情と価値観の表現でもあり、前向きに捉えたと若者達が職場環境を重要視して、居心地良い雰囲気の仕事に情熱を注ぎたいメッセージでもあるのでしょう。



撮影: MICS 編集部

個人的な感想ですが、私たちの世代における職場のデスクというものは整理・整頓が強調され、会社の組織文化や職場環境に適合させるために、従業員はしばしば個人的な特性を隠すことが求められます。それが、Z世代が職場に増えるようになってから、若者の個人の表現に対するニーズが高まっているのを実

唯来企業管理諮詢（深圳）有限公司
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



感します。

どこまで受け入れるかは、それぞれの会社の固有の雰囲気と上司の許容度にもよりますが、デスクテリアは職場文化の多様性と包容力を反映しているともいえるでしょう。従業員は自分の文化背景・興味・価値観をアピールすることができ、従業員同士の相互理解、交流を促進できます。また、この会社、この組織が従業員の多様性を尊重し、誰もが自己表現できる場を積極的に提供しているというポジティブなメッセージを外部に発信することにも繋がるでしょう。

職場と仕事は生計を立てるためだけでなく、生き方そのものであるのは万国共通だと思います。若者がより快適に、より楽しく仕事ができ、業務の質を向上させることに注力してくれれば、個性あふれるデスクテリアでも、特に問題ないのが上司達の気持ちではないでしょうか。

もちろん、中国も金融機関などの業種は職場のデスクの私物管理には厳しいので、すべての会社がこのような雰囲気というわけではございません。

また、デスクテリアではないですが、職場のデスクでも風水にこだわって、左側に加湿器や扇風機、右側に水の入ったグラスを置き、風と水を象徴し、精神的に安定する雰囲気を演出している方も少なくありません。

日本ではフリーアドレスやリモートワークが浸透し、個人の机が与えられていない会社も増えていますが、中国ではまだまだ「自分の場所」が提供され、それを個人的に自由に装飾する「働き方」が主流となっています。



深圳未来创新服务中心
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区粤海街道海天二路 19 号盈峰中心ビル 2301
TEL:86-135-3089-3085
<https://micsz.jp/>